



ペンギんぐみだより

2月

最近の子どもたちの様子

元気いっぱいペンギんさん。毎日が大騒ぎです。いろいろな事が出来るようになってきました。友だちとの関わりもいくつかの集団になって楽しそうに遊ぶ事も多くなりました。夢中になって盛り上がりあそぶ姿を見ていると「おおきくなったな」と感じます。喧嘩もありますが・・・喧嘩をしながら何が嫌だったのか、相手はどんな気持ちなのかを理解できるチャンスと、よい経験だと思っています。始まった！からとすぐに止めてしまうのではなく見守ることも大切かなと考えています。まだ自分の気持ちが優先してしまい言葉で上手く話せない子は手が出てしまう子もいますが怪我のない限りは見守っていきたいと思います。

この間、ゴム手袋を欲しいという子がいて、渡してみるとハサミで指のところで切ってシールを貼ってそれを見て「私もやりたい」と6人集まり製作が始まりました。紙テープなどを手袋に貼ってとても素敵な作品ができました。紙テープも沢山つなげて髪に飾り「ラプンツェル！」になりきって遊んでいます。めっちゃくちゃ長い髪の毛なのでお友だちに踏まれてしまうこともあります・・・。子どもたちの考える遊びって無限で見ていて幸せになります。これからも楽しみが沢山です。



色々複雑なんです。

話すことがしっかりしてきて会話のやり取りも楽しくなってきたのではないのでしょうか。その反面・・・話すことも一人前で言い返してくるようになってきたなんて事もあるのではないのでしょうか。大人には大人の事情がありますが、子どもにも子どもの事情があるのです。もうちょっと待ってほしかった。どうしてもやりたくなかった。眠たい、お腹がすいた。子どもは大人より敏感なのです。子どもの頃苦手だった食べ物も大人になって「あれ？食べられるようになった」なんてことはありませんか？あれは舌が鈍感になっているからなんですって。

子どもたちが何を思って何を考えているのか・・・時間のある時でよいのでじっくり待ってみると答えが見つかり「これがしたかったんだね」「これがいやだったんだね」と親も子どもも納得して次の活動にすすめるのです。あっと思ったら10秒待ってみる。それは声掛けが必要な事なのか自分で考え動けるものなのか。そんな関わりも大切なのかなと思います。子どもたちって大人が考えている以上に複雑でいろいろ考えています。子どもの目線になってみるといろいろ見えてくるものってあります。

2022年2月1日 保土ヶ谷保育園

ペンギん組担任

失敗は成功のもと！！

失敗してしまうとどうしても立ち直れない気持ちは経験不足からくるものだとされています。立ち直れないから失敗はしたくない。「失敗をしたくないから挑戦をしないでおこー。」につながってしまいます。子どものうちに失敗しながらも経験を増やしていくと「失敗しても大丈夫！」と自信につながります。失敗を嫌なものとして考えないで、たくさんの経験をして「失敗したっていいじゃないか！」の気持ちで何でも挑戦して行ける、そんな子どもたちに育てて欲しいと思います。それは大人の私たちも一緒にいろんなことにどんどん挑戦していけると素敵ですね。



挨拶って・・・

大人の私たちが自然に挨拶をしたり声掛けをしたりする中で子どもたちも自然に身につくものだとされています。教えるものではなく「親は子どもの鏡」と言われるように素敵だなと感じることを真似して覚えていくのだと思います。子どもの素敵な手本となれるようにしていきたいですね。

お願い

・感染症の流行しやすい時期です。体調の変化が見られる時はお知らせください。

・2月も遠足ごっこを計画しています。水筒（蓋に入れ飲む物ではなく、そのまま飲む物）・シート（一人用の小さい物）の準備をお願いします。詳しくは後日お知らせします。